

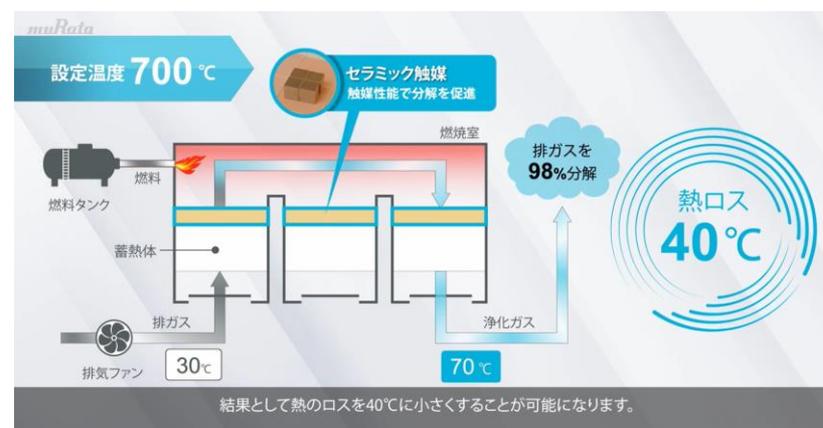
排ガス処理装置の省エネ

蓄熱式排ガス処理装置への耐熱セラミック触媒の導入事例

株式会社村田製作所

- ・ 出雲村田製作所
- ・ 野洲事業所
- ・ 無錫村田製作所 ほか

- 工場排ガス(VOC)分解に使われる排ガス処理装置の燃料消費を削減
 - 自社開発の新材料『耐熱セラミック触媒材料』を実用化。蓄熱式排ガス処理装置(RTO)に追加設置
 - 触媒の『分解促進効果』や『燃焼室温度の安定効果』により、熱回収率や自燃率が向上



- 削減効果：計1,100t-CO₂/年

21/5-継続使用中



無錫村田製作所

870℃→750℃

39%削減

23/2-継続使用中



野洲事業所A

800℃→700℃

53%削減

23/7-継続使用中



野洲事業所B

800℃→700℃

32%削減

23/12-継続使用中



出雲村田製作所

830℃→830℃

62%削減

燃焼室温度830℃のまま触媒追加
温度を下げず省エネを実現

お問い合わせ先
マテリアルビジネス課 担当：安田
keisuke.yasuda@murata.com